

OUR DESIRE



私たちの願い

豊かな心とくじけない心を翼にして
変化の激しい社会の中で力強く羽ばたく鳳凰を育てる

桐蔭学園中等教育学校の3つのポイント

01

完全な6年一貫教育を行う、
男女共学校です。

02

アクティブラーニング型授業・探究・キャリア教育を通して、
社会につながる力を育成します。

03

全員参加の海外語学研修など、
多彩な課外活動ができます。



《 学力の冰山モデル 》

知識・技能
見える学力

思考力・判断力・表現力等
見えにくい学力

学びに向かう力・人間性等
見えない学力

この図は、私たちの学力観を示したモデルです。氷山の水面上に出ている部分がペーパーテストでも測れる「知識・技能」を示します。このテストで測れる学力の下には、思考力・判断力・表現力という「見えにくい学力」があります。これらの力は測定することも評価することも簡単ではありません。私たちがアクティブラーニング型授業を進めていく中で気づいたのは、「見えにくい学力」のさらに下に「学びに向かう力」が隠れているということです。自己肯定感・感性がこの層に当たります。この層が大きくなると氷山の浮力は大きくなり、結果的に水面上の氷山の体積は増していきます。逆に氷山の最上部だけを鍛えても、浮力の関係上せっかく鍛えた知識・技能は水面下に沈んでいき、生徒の生きる力は十分に育ちません。「学びに向かう力」から「知識・技能」まで、包括的にとらえて伸ばすのが桐蔭学園です。

新しい進学校のカタチ

3つの柱

桐蔭学園では、グローバル化が進み、技術革新が絶え間なく続く、変化の激しいこれからの社会で主体的に生き抜くための資質・能力を、アクティブラーニング型授業・探究・キャリア教育の3つの柱で育てます。

アクティブ
ラーニング型授業

知識・技能を使いこなして考え、他者と話し合い、より良い答を追究し発表する経験を重ねるのが桐蔭学園のアクティブラーニング型授業です。こうした中で、知識・技能のみならず、自主性や多様な意見に耳を傾ける力、チームで問題解決をする力が育ちます。また、ふり返りの習慣をつけることで客観的に自分を見る目を養い、成長を促進します。桐蔭学園のアクティブラーニング型授業は「バランスの良い」学力を育てます。

探究
(未来への扉)

人類が経験したことのないスピードで変化し続けるこれからの社会では、今までの当たり前が通用するとは限りません。そんな先の見えない時代において主体的に生きるには、自分で状況を把握し、課題を見出し、解決する力が不可欠です。情報整理・分析のための基礎的なスキルから、論文をまとめて発表するまでを体系的に学ぶのが桐蔭学園の「探究(未来への扉)」の授業(週1時間)です。

キャリア教育

桐蔭学園には、各方面で活躍する5万人以上の卒業生がいます。豊富な人脈を生かした卒業生との交流会や、ジョブシャドウイング、研究室シャドウイングやさまざまな学校行事を通して、生徒は社会性を身につけるとともに、自分の未来の姿を思い描きます。さらに毎日のホームルームでも1分間スピーチや、生活のふり返りを通して、自分を客観的に見つめ、ありたい自分を作り出し、両者を結びつけるカー「成長し続ける力」を育成します。



アフタースクール(放課後のさまざまな活動の総称)

グローバルラウンジ

▶P.12

部活動

▶P.13~14

~「授業」の枠を越えて、生徒がいきいきと活動できる場~

6年間の学び

桐蔭学園中等教育学校は完全6年一貫の学校です。生徒ひとり一人に合わせて、ゆつくりとその成長を見守っていきます。豊かな自然と信頼できる仲間に出会って、生徒たちはのびのびと過ごし、やがて成長した風（おひとり）となって社会へと飛び立っていきます。

学習プログラム



探究（未来への扉）



キャリア教育



グローバル教育



出会う

基礎力養成期

1年

出会う



新しい学校・友人・先生・教科・部活動と出会い、桐蔭生としての生活の基盤を作ります。中等生としての自分と出会います。

2年

広げる



後輩と出会い、先輩としての自分と出会います。いろいろなものにチャレンジして興味を広げていきます。

深める

展開期

3年

見つめる



世界・社会の中での自分を見つめるとともに、さまざまな角度からのごとの本質を見つめます。

4年

深める



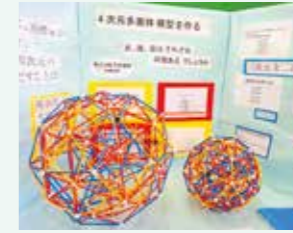
自分なりの視点から世界をとらえ、深い問題意識を作ります。自分のキャリアアンカーを意識し、それを深く下ろしていきます。

飛び立つ

発展期

5年

仕上げる



学校行事・委員会活動・部活動などさまざまな場面でリーダーシップを執ります。修学旅行を通じて学校生活の仕上げを目指します。

6年

飛び立つ



この学園で学んだことを自分の将来と結びつけ、若き鳳凰として大空に飛び立ちます。

アクティブラーニング型授業

基礎スキルの育成

身近な題材から興味関心を広げつつ、探究に必要なスキルを習得します。



スキルの活用

15歳のグローバルチャレンジ、16歳のサイエンスチャレンジで、世の中の課題と向き合います。

興味関心が近い20名程度でゼミを構成し、「自らの問い」に基づく探究学習を進めます。

発展探究

生徒全員が、下級生や保護者を前にした校内発表会に参加。最後に研究成果を論文にまとめます。



「私はこうきたい」に近づく

1分間スピーチ
シアターラーニング

相互に傾聴し、承認する経験を積むことで、自己効力感を育みます。

地域社会との連携

地域プロジェクトに取り組むことで、子どもの枠を越えた他者理解へ。

15歳のグローバル
チャレンジ

世界が抱える諸課題の解決に取り組むことで、社会調整力を育みます。

ジョブシャドウイング

働く大人に1日密着し、働く意味について考えます。

研究室シャドウイング

大学の学問に触れ、何のために何を学ぶかを考えます。

キャリア宣言

自分のありたい姿と、そのための進路を宣言します。

体験を重視した多様なプログラム

ネイティブ教員の授業やグローバルラウンジ・英語村の活動などで英語に親しみ、楽しみながら英語を使う姿勢を身につけます。



目標：英検4級
桐蔭英語村

目標：英検3級
ニュージーランド(3月)
国内語学研修(3月)



目標：英検準2級
全員での海外語学研修
in クラーク

身につけた英語のスキルを発揮する段階です。海外語学研修を通じて「自分の英語が通じる」実感とグローバルな視点を獲得します。

高い英語力と国際的感覚を身につけ、グローバルな視点で問題の解決を図る力を発揮します。



模擬国連部での世界大会への挑戦

海外提携校への短期・中長期留学 in U.S.A



力強く大学で学び、 仕事・社会で活躍するために

テストで高い点数を取っても、上位の大学に入っても、アクティブラーニングができないようでは、大学で力強く学び、仕事・社会で活躍することはできません。私は大学の世界で、そのような学生を少なからず見てきました。頑張っている良い大学に入ってきたのに、在学中のみならず卒業後も学びと成長が弱く、残念な思いをしてきました。学び成長する大学生、活躍する社会人はアクティブラーニングができます。桐蔭学園では、「新しい進学校のカタチ」というスローガンのもと、生涯に渡って必要とされるアクティブラーニングの力を育成します。

桐蔭学園 理事長
溝上 慎一

【Profile】

2003年京都大学高等教育研究開発推進センター准教授。2014年同教授を経て、2018年9月に桐蔭学園へ着任。2019年4月に理事長着任。京都大学博士（教育学）。日本青年心理学会理事、大学教育学会理事、“Journal of Adolescence” Editorial Board委員、日本青年心理学会学会賞受賞。

[わかったつもり] から [わかった] へ

本校では、2015年度から「アクティブラーニング型授業」を導入しています。
桐蔭学園のアクティブラーニング型授業がどのように行われているのか、
標準的な流れをご紹介します。

アクティブラーニング型授業とは

01 STEP | まず「個」の学習

授業の冒頭に「本時の目標」を確認し、「今日の授業では何を学ぶのか」を明確にします。また、復習テストなどを用いて基礎知識などの習得を確認します。この一連の学習は「個」を中心とした活動です。



02 STEP | 「協働」の学習

授業の中盤には、知識を活用してペアワークやグループワークを行う時間帯があります。他者の意見や考え方に触れることにより、自分の意見との共通点や相違点などに気付くことができるほか、グループ内の生徒たちの力により高次な学びに達することもあります。この一連の学習は「協働」を中心とした学習です。



03 STEP | 最後に「個」で振り返り

授業の最後には「振り返り」を行います。授業の冒頭に掲げられた「本時の目標」が、授業を通して定着したかどうかを自分で振り返ります。また、他者の意見などで自分の考えがどのように変化したのかを記録します。この「振り返り」により「個」を中心とした学びにおとし込めるのです。



Active learning



英語

世界の多様な考え方を英語でつなぐ

「楽しむ」—ここから英語学習をスタートします。「話す・聞く・書く・読む」言語活動を中心とした授業、洋書の多読やネイティブ英語教師による授業で、楽しみながら英語を学びます。グローバルラウンジや英語村でコミュニケーションの楽しさを存分に味わい、3年次に全員で参加する海外語学研修にて実践的な経験を積みみます。英語学習へのモチベーションが高まり、英語の表現の幅も大幅に広がり、英語の論理で考えを表現する力を育成する段階へと進んでいきます。英検をはじめとする外部検定試験に対応できる力も自然と身につきます。英語のアクティブラーニング型授業では、英語の4技能をバランスよく習得するだけでなく、世界の多様な考え方に触れ、協働していく資質も身につけていきます。



数学

「6つの力」を育む数学

数学の授業では、アクティブラーニング型授業を展開し、次の「6つの力」を学年・単元に合わせて徐々に深化させていきます。①情報を正確に理解する「読解力」、②知識を活用する「思考力」、③感覚的に推測できる「直観力」、④正確に処理する「計算力」、⑤考えを筋道立て伝える「表現力」、⑥問題を作成できる「作問力」、これらの力を育成する活動を通して、将来待ち受けるさまざまな課題に対して、現象を数理的にとらえ、論理的な思考を駆使し、課題の解決に貢献できる人材を育てていきます。また、20年間続く伝統の「桐蔭数学学力試験(通称:トーマスオリンピック)」では、年2回、教員オリジナル問題に3時間かけて挑戦します。1年から6年までの生徒が同じ問題に取り組むことで、学年や分野に関係なく「自由な発想で解く」ことを主眼に置いて実施しています。



理科

世界に貢献できる理科の力

理科では、観察力・分析力・活用力の3つを磨いていきます。1、2年次は観察や実験を多く取り入れ、考察し発表する力を身につけていきます。3年次以降は、高校の履修内容に入り、科学が果たしてきた有用性と新たな課題について、実社会や実生活と関連付けながら知識と知恵を活用し挑戦していく力も養っていきます。本校では物理、化学、生物、地学それぞれの専門教員が、生徒の興味、関心に応えていきます。学ぶ内容がリンクする項目では、各科目間で連携しながら総合的な学習も取り入れ、無理なく、より深い学びが得られるよう展開し、科学的リテラシーを身につけていきます。これらを通して「理科の好きな生徒」を育て、世界に羽ばたく力へとつなげていきます。

《言語活動》

アクティブラーニング型授業を支える話し方・読み方・書き方・聞き方

アクティブラーニング型授業では相手に考えを伝えたり、みんなの前で説明をしたり、意見をまとめる機会が多くあります。しかし、今まで苦手だった人も心配する必要はありません。桐蔭学園では、対話の仕方、説明の仕方、スピーチの仕方、文章の書き方などについても、国語の授業だけでなくさまざまな科目の授業や行事などを通じて体系的にしっかりと身につけていきます。また、さまざまな文章の読み方についても学び、「話す・聞く・書く・読む」を一体として伸ばしていきます。自分の考えを深め、感性を豊かにし、他者と交流するために、またグローバル言語としての英語力を伸ばすためにも必要な日本語の学習が「言語活動」です。



副校長 玉田 裕之

STUDENTS' VOICES. 01

授業では、クラス全体が「傾聴」を大切にしてくれています。自分の意見を恥ずかしくなく、相手に伝えることができます。

3年 土井 あゆみ さん



ペアワークなどで、友達と意見を重ね合わせると気づき生まれます。そこから新たな考え方や答えを導き出しています。

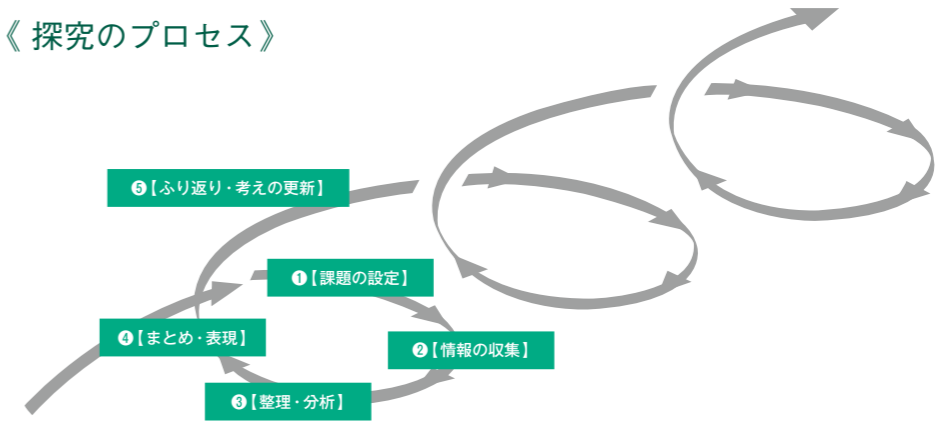
3年 伊東 俊祐 さん



Inquiry

桐蔭学園中等教育学校では、1年次から5年次に週に1回「未来への扉」という科目名の探究の授業があります。この授業では、情報の集め方、情報の整理の仕方、プレゼンテーション資料の作り方といった基礎的なスキルから、さまざまな角度からの分析の仕方、問題解決の方法など一生涯使える力を身につけます。

《探究のプロセス》



- 【課題の設定】 課題を発見する
- 【情報の収集】 情報を集める
- 【整理・分析】 集めた情報を整理して分析する
- 【まとめ・表現】 考えたことをまとめて他者に発表する
- 【ふり返り・考えの更新】 ふり返って新たな課題へ

探究を進めるうえでは、課題を具体的に「設定」します。課題の設定をする時は、「自分の興味・関心のあること」と「社会の課題」の接点をつなげてみるころがポイントです。

課題が設定できたら、その課題に対してどのような情報が必要か、その情報を得るためにはどんな調べ方をするのが有効かを考えます。

情報を集めたら、課題解決のために情報を整理したり分析したりします。収集した情報を構造化・可視化して多様な視点から分析します。

探究の結果をまとめて、他者に発表します。方法としては、論文やレポート、ポスター発表やプレゼンテーションなど様々なものがあり、目的に合わせて表現します。

探究は実践して終わりではなく、そのプロセスを通して、何ができて、何ができていないのか、全体をふり返ることが重要です。成果や課題を明らかにすることで、自分が獲得した力をきちんと認識し、さらに新たな課題が見えてきます。

TOPIC> 15歳のグローバルチャレンジ

日本初！ 模擬国連の活動が授業に！

3年次には「15歳のグローバルチャレンジ」に取り組みます。この授業は「探究(未来への扉)」の一環で、1・2年次に学んだ知識やスキルを活かし、生徒が「各国政府の代表の立場」になって、世界が抱える諸課題の解決にチャレンジします。多角的な分析力、明晰な主張をする力、そして多様な価値観を認め、他者とともに「ありたい社会」に向けて一歩を踏み出す力を育てます。



STUDENTS' VOICES. 02

探究の授業では、友達との活動が多く、テーマに沿って自由に学べます。数学や国語とは違った楽しさがあります。

3年 大道 陽仁 さん



「偉人探究」でココ・シャネルさんについて調べ、発表しました。私も、何があっても前向きに強く生きたいです。

3年 澤田 心 さん



Career education

桐蔭学園のキャリア教育は、普段のホームルームから自分の考えや夢を言葉にして相手に伝えることを指導し「成長し続ける自分との出会い」を提供します。日ごろから誰かに自分の考えを伝えるとともに友人の考えや夢を聞く中で、今の自分がかかめてくると同時に、将来目指すところが明らかになってきます。



シアターラーニング

体感型研修で表現マスターになる

シアターラーニングとは、「ミュージカル」と「研修」が融合した新しい体感型研修です。歌唱、演技、創作表現を組み合わせたワークショップに、ミュージカルの俳優陣で編成されたファンリターターとトレーナーが関わることで、「大きな感動」と「深い学び」、そして「場の一体感」が生まれるダイナミックな研修です。目標は「表現マスターになる」こと。参加した生徒たちは、想定外のさまざまなシチュエーションにおいて「あるべき姿」を演じることで、次第に自分の殻を破り、自分から前へ踏み出す意識と表現する力を養うのです。

フロンティアセミナー

「社会」に目を向けるきっかけを

フロンティアセミナーは、現在社会人としてさまざまな分野で活躍する本校の卒業生が、後輩たちに、自身の経験に基づいたレクチャーをする行事です。講師である卒業生は、自身の仕事の内容はもちろん、それ以上に社会人として生きていくために必要な「志」について、とりわけ熱く語ることが多く、生徒たちは熱心に耳を傾けます。勉強や部活動、友人関係など、かつての学園生活と「現在」とがどうつながっているのかといった話は、きっと生徒たちの心に残るはずですよ。

TOPIC

1分間スピーチ

自己表現で得た承認を糧に

朝のホームルームなどでは、生徒による1分間スピーチの時間があります。テーマはその時々によって変わりますが、毎日1人ずつテーマに沿った話をします。テーマの例は「将来の夢」「いま一番夢中になっていること」「わたしの宝物」などです。スピーチの間、仲間たちは発表者の顔をしっかりと見て、時にうなずきながら真剣に話を聞いています。発表者は自分の思いを大きな声でスピーチします。時にはジェスチャーを交えたり、またある時にはスピーチの内容に関わるものを自宅から持ってきたりといった工夫も。スピーチ終了後、教室は大きな拍手に包まれます。また、発表者にはクラス全員からのコメントシートが届きます。「○○とはすごいな、と思いました。」「○○さんの新しい一面を発見しました」など。「傾聴」と「承認」が生徒の自己肯定感を醸成しています。



3年 野口 由衣 さん



毎日の「活動計画」を書くことでその日にやる事が明確になります。さらに学習時間や優先度の確認ができ、計画の修正に役立ちます。

3年 大谷 佳慈 さん



STUDENTS' VOICES. 03

毎朝の1分間スピーチでは、友達の話や聴いた後、メッセージを贈ります。人前で話す力も鍛えられていると感じます。

After School

「アフタースクール」とは、放課後のさまざまな活動の総称です。その柱の一つとなる空間が、グローバルラウンジです。放課後の友人たちと和気あいあいと過ごすことで学校生活がより一層楽しいものになります。グローバルラウンジでは、友人とのふれあいに「英語」「世界へのまなざし」が加わります。



グローバルラウンジから世界へアクセス

グローバルラウンジとは、英語を使ってネイティブの先生や友人たちとコミュニケーションを取ることができるスタイリッシュな空間です。生徒たちは気軽に立ち寄り、英語を通じて楽しい体験をすることが可能です。英語を使ってスキルを向上させることはもちろん、世界中の人々つながり、理解を深めることができる場になります。また、英語の資格・技能試験に対するアフタースクールプログラムも行われます。多様な文化を感じられるグローバルラウンジから、世界で活躍する舞台へと羽ばたいてほしいと願っています。

実験などさまざまな企画が盛りだくさん

2019年度のアフタースクール講座では、「フーメランはなぜ飛ぶ?」「顕微鏡をもっと使おう」「ブタの内臓観察会」「プログラミング応用講座」「学校の周辺散策〜虫取り〜」「折り紙で正月飾りをつくろう」「学校の裏山探検」など多様な企画が行われ、多くの生徒たちが参加しました。

全員参加の海外語学研修

クラークで異文化の体験から国際的感覚を身につける

3年次の春休みに、全員参加の海外語学研修を行います。フィリピンのクラークで2週間、語学学校のドミトリーで生活し、英語の学習をはじめ、海外の文化に触れる機会を持ちます。英会話は現地の講師とのマンツーマン授業を中心に、さまざまなアクティビティを織り交ぜた多彩なプログラムを準備しています。海外生活という実地経験を得ることが自信につながり、英語学習の充実はもとよりグローバルな視点を持つ大人への成長が期待されます。



PARTNER SCHOOL

共学	共学	共学	共学	共学	共学
Choate Rosemary Hall	Phillips Academy Andover	Deerfield Academy	St. Paul's School	Cushing Academy	Northfield Mount Hermon School
チョート・ローズマリー・ホール	フィリップス・アカデミー・アンドーヴァー	ディアフィールド・アカデミー	セントポールズ・スクール	クッシング・アカデミー	ノースフィールド・マウント・ハーモン・スクール
長期留学: 1年間	短期留学: 約5週間	長期留学: 1年間	中期/学期(ターム)留学: 約10週間	短期留学: 約5週間	短期留学: 約5週間 長期留学: 1年間

INTERNATIONAL EXCHANGE PROGRAM

STUDENTS' VOICES. 04

アフタースクールはどの企画も楽しみでしたが、特に面白かったのは、顕微鏡を使う企画です。今は、運営委員として企画立案もしています。

3年 桑原 悠希 さん



グローバルラウンジの運営委員をしています。ここは、イベントを通じ、英語を楽しく学べる場所です。気軽に立ち寄ってください。

3年 田所 愛望 さん





CLUB ACTIVITIES

Toin Gakuen School Life
部活動
(2020年度活動実績)

アフタースクールを
構成する重要な要素



CULTURE 文化部

26 Clubs

吹奏楽／写真／天文／囲碁・将棋／生物／美術／書道／文芸／鉄道研究／化学
／電気工作／インターアクト／演劇／漫画研究／軽音楽／室内楽／混声合唱／
グリークラブ／コンピューター研究会／茶道／園芸／弦楽／華道／箏曲／料理研究会
／競技かるた



Student's Voice



吹奏楽部に所属しています。初心者からのスタートでしたが、今ではとても楽しく仲間と一緒に取り組んでいます。

3年 野村 尚汰 さん



SPORTS 運動部

22 Clubs

サッカー／ラグビー／剣道／柔道／バスケットボール／ハンドボール／バレーボール／
軟式野球／卓球／硬式テニス／ソフトテニス／陸上競技／少林寺拳法／バドミントン／
水泳／体操／スキー／ソフトボール／アウトドア／ダンス／ラククロス／空手
※後期課程(4～6年)においては、高等学校とは別組織であり、大会への出場も別チームとなります。
※後期課程進級時に、中等教育学校から高等学校への「転籍」や「受験」はできません。



Student's Voice



初めてハンドボールをしましたが、すぐに魅力にとりつかれました。部活の時間が楽しみです。大会で活躍したいです。

3年 篠崎 健臣 さん



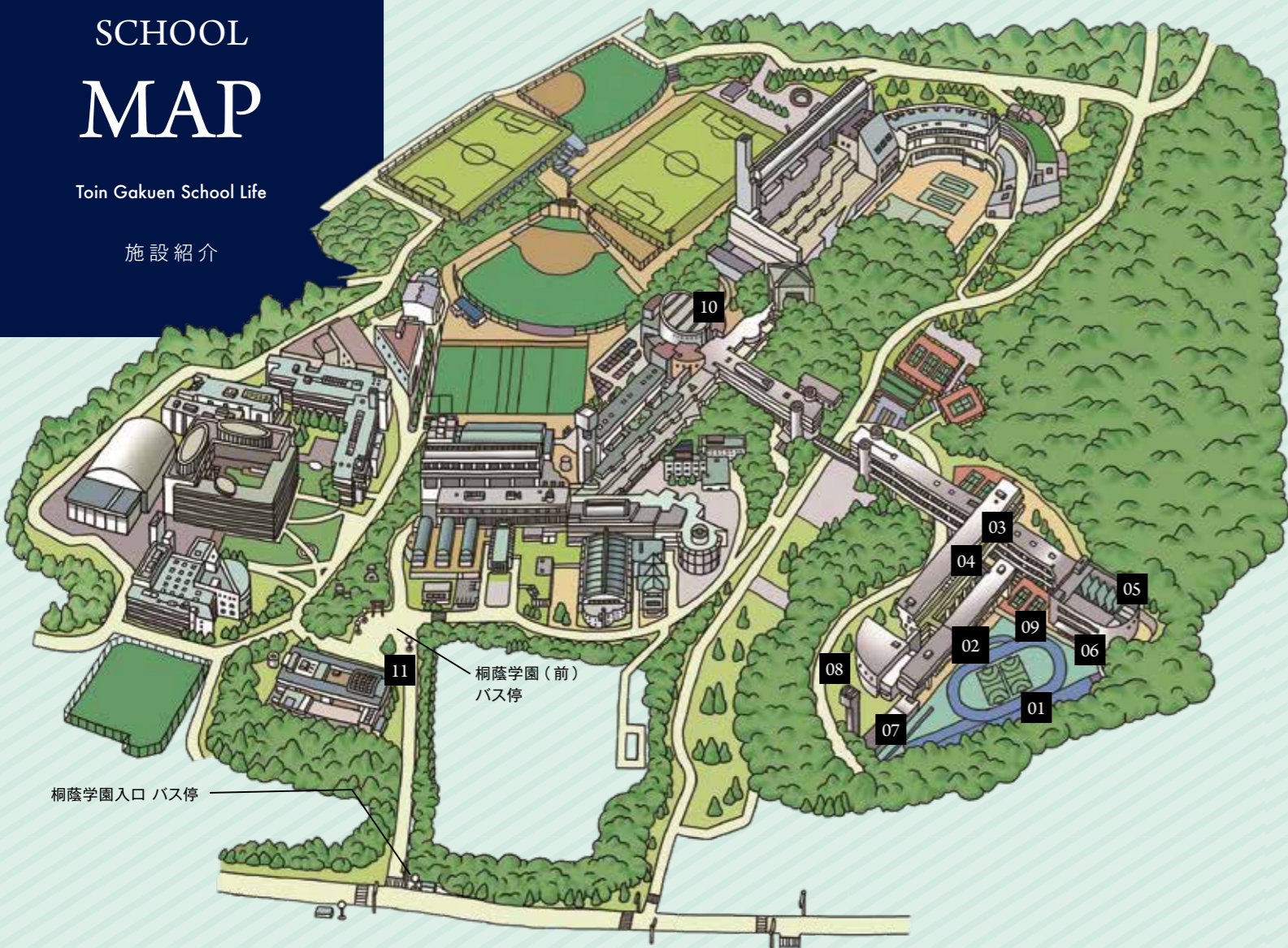
バドミントン部で、仲間と切磋琢磨しながら充実した時間を過ごしています。私にとって、部活は自分を磨く場所です。

3年 梅垣 千乃 さん

SCHOOL MAP

Toin Gakuen School Life

施設紹介



SCHOOL EVENTS

Toin Gakuen School Life

年間行事

充実の1年間を送る豊富な行事 (2021年予定)

- 4 April
 - ・オリエンテーション・入学式・始業式/対面式・新入生歓迎会
 - ・部活動紹介・遠足・(ホール)シアターラーニング
- 5 May
 - ・オープンスクール・運動会・(ホール)音楽鑑賞
- 6 June
 - ・保護者会・保護者授業参観・(ホール)ミュージカル鑑賞
- 7 July
 - ・1学期末考査・夏期講習(後期課程)
- 8 August
 - ・夏期講習(後期課程)
- 9 September
 - ・学園祭(鷺鳳祭)
- 10 October
 - ・修学旅行(5年)・保護者会・避難訓練
 - ・「未来への扉」発表会
- 11 November
 - ・(ホール)科学ショー鑑賞・2学期末考査
- 12 December
 - ・朝会・(ホール)合唱コンクール
- 1 January
 - ・ウインターキャンプ(1年)
- 2 February
 - ・アチーブメントチェック・(ホール)映画鑑賞
- 3 March
 - ・卒業証書授与式・学年末考査
 - ・海外語学研修(3年・クラーク)



自然豊かで広大な学園の
充実した施設



桐蔭学園シンフォニーホール

学園内の各校舎の要(かなめ)の位置にそびえ、円錐を斜めに切り落としたような銀色に輝く建物が学園のシンボル、桐蔭学園シンフォニーホールです。入学式・卒業式など学園の公式行事のほか、オーケストラなどの演奏会、歌舞伎などの古典芸能、劇団による演劇、映画や講演会など、国内外の一流の芸術・文化に、多くの生徒たちが直接触れることができます。また、学園祭などの生徒の創造的活動の発表の場でもあり、学園内の教育的・文化的活動の拠点となっています。

保健衛生

それぞれの校舎に保健室が置かれており、速やかに生徒の怪我や病気の対応にあたります。学園の中央に位置するシンフォニーホール近くには桐蔭学園診療所もあり、校医のほかの協力医に診察してもらうことが可能です。AED(自動体外式除細動器)もキャンパス内の24か所に設置されています。また、保護者・生徒の相談に対し、きめ細かく対応するためにカウンセラーも常駐しています。

災害対策

大きな地震災害に対しては、校舎は十分な耐震性を保っているとの評価をいただいています。災害時には、東日本大震災の時と同様に、帰宅困難な生徒を学校に留めておくことが想定されますので、非常食、防寒シート、水などを備蓄しています。また、もしもの時に生徒の身を守る「大地震対応マニュアル」も全生徒に対して4月に配付されています。これは、登下校中に大地震が発生した際の自身の安全の守り方や連絡方法について、耐水性のストンペーパーに印刷されているものです。さらに、台風や大雪などで臨時休校にする場合や早めに下校させる時は、事前登録者への一斉メールを用いて保護者の方々へ連絡しています。

桐蔭学園アカデミウム

学園のバスロータリーの前に位置する神殿風の建物が桐蔭学園アカデミウムです。ここでは定期的にさまざまな展覧会やイベント、シンポジウムなどが開催されています。館内には、文化財としての価値をもつ横浜地方裁判所にあった「陪審法廷」が移築復元されています。また、「TOIN ART COLLECTION」と題する生徒作品の展示の場としても利用されています。

Google マップでも **桐蔭学園** と検索!



SCHOOL UNIFORMS

Toin Gakuen School Life

制服紹介

ITEMS



BAG girls

BACKPACK



RIBBON girls (4th~6th)

TIE girls (4th~6th)

前期課程のアフタースクールで生徒たちの手によってデザイン案が練られ、決定した後期課程のリボンと女子ネクタイです。鳳凰の刺繍を採用したところに、共学の一体感として男子と共通のデザインを入れ込みたいという在校生たち自身の思いが表現されています。



WINTER 冬服

男子:紺のブレザースタイルです。桐蔭学園50周年記念鳳凰をあしらった金色のメタルボタンが王道スタイルの中にもこだわりを感じさせてくれます。ブレザーとスラックスは、ご家庭でも洗える素材となっています。撥水生地や伸びる裏地など、高機能素材にもこだわっています。
女子:紺のスーツスタイルです。リボン・ネクタイが選べます。スカートは一見無地に見えますが、ヒダの蔭にピンクのストライプが隠れていて、着る生徒の動きに合わせて表情を変えます。スラックスも選べます。上着とスカート・スラックスは、ご家庭でも洗える素材となっています。撥水生地や伸びる裏地など、高機能素材にもこだわっています。

SUMMER 夏服

男子:涼しげな白のボタンダウンシャツで、左胸の桐蔭学園50周年記念鳳凰がアクセントです。吸汗速乾・防汚・UVカットなどの機能が、夏の快適な生活をサポートしてくれます。
女子:スカートは涼しげなグレー地に冬スカート同様ヒダに隠れたピンクのストライプがポイント。スラックスも選べます。また抗菌防臭・消臭・吸汗速乾・防汚・UVカット・透け防止・ノーアイロンと機能も満載のシャツが、夏の快適な生活をサポートしてくれます。さらにオプションスカートはスコットランドの大手タータンチェックメーカーであるLOCHCARRON社がデザインした柄を採用しました。赤のチェックが可愛らしい印象を与えてくれます。こちらのスカートは通年素材となっているため、一年中着用する事が出来ます。どのアイテムとも相性抜群で、一年中のオシャレをサポートしてくれます。

校長メッセージ

「知は感動なり」
～夢を語れる情熱を

校長 岡田 直哉



今まで知らなかったことを知ったり、理解できなかったことが理解できるようになると、「ああ、そうだったのか!」という感動が湧いてきます。これが「なぜ学ぶのか」という問いに対する私なりの答えです。感動を得るために日々学んでいるといえるのかもかもしれません。皆さんがこの桐蔭学園で「なぜ学ぶのか」について考え、その答えが見つけれせる日を楽しみにしています。

建学の精神

社会連帯を基調とした、義務を実行する自由人たれ。
学問に徹し、求学の精神の持ち主たれ。
道義の精神を高揚し、誇り高き人格者たれ。
国を愛し、民族を愛する国民たれ。
自然を愛し、平和を愛する国際人たれ。

校訓

すべてのことに「まこと」をつくそう。
最後までやり抜く「強い意志」を養おう。

桐蔭学園の校章



桐蔭学園の校章は、五三の桐（ごさんのぎり）です。歴代理事長の母校、旧制東京高等師範学校（現・筑波大学）の校章にちなんでいます。桐には、瑞鳥、鳳凰（ほうおう）が宿るとされています。千里万里を天翔（あまかけ）の前に、鳳凰がその力を養うのが桐樹の蔭（かげ）です。緑の高台に陽光を浴びて白亜の校舎が点在し、その間に広がる広大なグラウンドは、まさに桐樹の蔭。学校創立以来、その「力」は年ごとに飛躍しており、鳳（おおとり）のひなは、この桐の蔭から次々と飛び立っています。

桐蔭学園 学園歌

作詞：加藤 楸 作曲：荒川 よう

- | | |
|--|--|
| 一 ほのほのと 萌え出でし草 のぞみあり
深くゆたかに たたへたる
もろくさの根の いとなみの
いまあらはれし しるしなる | 三 阿夫利根を 雁わたる見ゆ 未来あり
もとめとめて あふれくる
もろもろの胸 いつしらず
おのづとむかふ ところあり |
| 二 いかづちや くろがねの森 ちからあり
枝をかはして きそひあう
おのおのの木 恋ひやまぬ
向きさまたぐる ものはなし | 四 大空の 雪後の青さ まことあり
さむききびしき はてしなき
世の荒き道 貫きて
この冴ゆるもの 身をひたせ |